


「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

<p>学校名 [高砂小学校] 氏名 [亀崎 英治] [小] 学校 [4・5・6] 年版 単元名 [地震からくらしを守る] P 30～31 教科・領域名 [社会科] [時間] 45分]</p>													
<p>主な学習活動 (実際に行った活動)</p>	<p>指導の実際</p>												
<p>【ねらい】 東日本大震災の教訓を基に、行政（仙台市）は地震や津波から住民の暮らしを守るために様々な取組を行っていることを理解させる。（公助）</p> <p>1 前時の内容を想起し、本時の課題をつかむ。 ○ 前時の学習内容を確認する。（学校の取組として） ・ 学校の防災マニュアル，地震や津波の避難訓練の実施，避難経路図の掲示，備蓄倉庫，防災頭巾など。 ○ 課題を提示する。 仙台市は、地震や津波から住民のくらしを守るためにどんな取り組みを行っているのだろうか。</p> <p>2 予想を立てる。 ・ 備蓄倉庫の食料は、仙台市から渡されたものだ。 ・ 学校の入り口に避難所の看板を見た。 ・ 学校と同じように、防災マニュアルがあると思う。</p>	<p>・ 4年社会「災害からくらしを守る」の単元で「地震」を選択した。本時のみの単発の授業ではなく、社会科の単元として行いながら仙台版防災教育副読本を活用した。</p> <table border="1" data-bbox="869 504 1441 936"> <thead> <tr> <th>次</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>東日本大震災の被害 仙台版防災教育副読本 P 4～5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>学校の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 8</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>仙台市の取組（本時） 仙台版防災教育副読本 P 3 0～3 1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>地域の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 9</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>家庭での取組～発展 仙台版防災教育副読本 P 4 0～4 1</td> </tr> </tbody> </table>	次	内容	1	東日本大震災の被害 仙台版防災教育副読本 P 4～5	2	学校の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 8	3	仙台市の取組（本時） 仙台版防災教育副読本 P 3 0～3 1	4	地域の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 9	5	家庭での取組～発展 仙台版防災教育副読本 P 4 0～4 1
次	内容												
1	東日本大震災の被害 仙台版防災教育副読本 P 4～5												
2	学校の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 8												
3	仙台市の取組（本時） 仙台版防災教育副読本 P 3 0～3 1												
4	地域の取組 仙台版防災教育副読本 P 3 9												
5	家庭での取組～発展 仙台版防災教育副読本 P 4 0～4 1												
<p>3 仙台市が行っている取り組みを調べよう。 ① 避難するところについて ・ 「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の違いは？ ・ 「指定緊急避難場所」とは、地震などの危険から逃れるための避難場所。一時（いつとき）避難場所とも言う。近所の公園など。自宅の近くはどこかな？ ・ 「指定避難所」とは、避難者が一定期間とどまって生活するための避難所。学区では、高砂小と高砂市民センターが避難所となっている。自分はどちら？ ・ 「がんばる避難施設」というものもある。地域の自主的な施設。学区内には4箇所もある。どこだろう？ ② 地震対策 ・ 「仙台市地震ハザードマップ」がある。高砂地区の危険度はどうかな？ ・ 自宅の耐震診断に補助金を出す。（市が9割補助） ・ 通学路のブロック塀の点検を行うニュースを見た。 ③ 津波対策 ・ 「津波避難エリアと避難場所マップ」がある。学区内の一部にも津波が来た。 ・ 垂直避難のために「津波避難タワー」を建てた。 ・ 道路のかさ上げ工事を行っている。完成したの？ ・ 津波の浸水区域の看板を設置。見たことあるよ。</p>	<p>・ 仙台市ホームページ「防災・災害対策」「仙台市地震ハザードマップ」「津波からの避難の手引き（暫定版）」「津波避難エリアと避難場所マップ」「せんだいくらしのマップ」 （避難所の場所を確認） ・ マップ等の資料は、事前にダウンロードして児童に配布した。 ・ マップで学区内の避難所の場所を確認させるとともに、緊急避難場所及び避難所の図記号を取り扱った。</p> <p style="text-align: center;"> 緊急避難場所 避難所 </p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>・ 仙台版防災教育副読本を活用した。 P 3 0 「避難所について」 P 3 1 「津波からの避難の手引き」 P 1 5 「減災まちづくり～津波対策」 ・ マップや津波避難タワー，浸水区域の看板等の写真等は，パワーポイントにまとめて提示した。</p>												
<p>4 まとめと次時の予告 仙台市は、震災の教訓を基にして、地震や津波から住民のくらしを守るため、様々な取り組みを行っている。</p> <p>・ 地域（高砂学区）ではどんな取り組みをしているか。 ・ S B L，仙台市防災減災アドバイザーって？</p>	<p>・ 「一時（いつとき）避難場所」や「がんばる避難施設」の場所，地区で行われている防災訓練等について調べてくることを課題として出した。 ・ 単元のまとめに，仙台市防災減災アドバイザーの及川由佳里氏から話を聞いた。</p>												

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

実践事例のポイントとして

- 副読本ありきで単発の授業を組み立てるのではなく、各学年で防災の単元を作成し、その中で副読本を資料として活用していく。（高砂小防災教育単元計画を作成中）
- 4年の社会科「災害から暮らしを守る」の単元では、「火事」でなく「地震」を選択して授業を行った。